

発 言 通 告 書

令和 8 年 9 月 7 日

松山市議会議員 大 塚 啓 史 殿

松山市議会議員 岡 雄 也

次のとおり通告します。

発言順位	1	受領日時	9 月 7 日 午前・午後	1 時 40 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間	約 60 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者				

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	令和 7 年度一般会計の決算から見た財政構造と令和 9 年度予算編成について	(1) 令和 7 年度決算の評価と本市の財政構造に対する認識を問う。 (2) 今後の財政需要と大型事業への対応について、財政負担の見通しと事業の優先順位を問う。 (3) 令和 9 年度予算編成について ①財政規律を踏まえた予算編成の考え方を問う。 ②県費補助率の見直しを要請することへの考え方を問う。
2	第 2 次松山市公共施設等総合管理計画について	(1) 第 1 次計画の 10 年間の検証について ①10 年間の施設削減量の純減が約 0.3%にとどまった要因の分析を問う。 ②分析した結果、第 2 次計画へどう反映するのか。 (2) 第 2 次計画の成果指標について ①計画期間 20 年の間で 10%程度の削減を目指す理由を問う。 ②計画期間の成果を検証できる定量的な KPI を設定する考えについて問う。 (3) 施設更新について全庁共通の判断基準を設ける考えはないか。
3	観光振興計画の策定に向けた質の重視と受入れ環境の整備について	(1) 松山市観光客推定の在り方について ①推定観光客数の算出根拠の見直しを行い、他市と比較できるような基準をそろえる考えはないか。 ②イベント来場者数の算出方法及びイベント来場者を推定観光客数へどう反映するのかを問う。 (2) 新たな観光振興計画の成果指標に関し、「量」から「質」を重視した KGI を位置づけ、KPI を体系的にする考えはないか問う。 (3) 多言語対応と災害時の情報提供など受入れ環境整備を行うことについて本市の見解を問う。

